

実現案一覧

目的・目標	実現案の概要	①組織体制・制度	②要員	③設備・経費など	
退学率の低下 ・出席率の管理 ・履修成績管理	定期試験の欠席率を5%以下にする。	学生カルテによる出席状況把握。4月の出席率が30%以下の学生を呼び出し指導する。保護者への連絡を併用。試験前にもう一度呼び出し指導する。テスト期間に定期テストを行わない授業は目標達成の対象としない。	学部・全学共通の事務が出席状況のチェックと呼び出し指導を行う。	対応する職員。	学生カルテへの、出席率、テストへの出席率による条件検索機能の追加。
	事務が履修未登録者全員へ連絡をする。対応しない学生については保護者へ郵送で確認を行う。	保護者の大学への満足度向上のために、保護者用ポータルサイトで履修状況、出席状況と成績の公開をする。これにより、学生支援に保護者の参加を促す。	事務が履修未登録者のチェックと連絡する。全学的なポータルサイト構築のためのプロジェクトチームを作る。個人情報管理の委員も参加する。	教職員。	保護者向けポータルサイトの作成。
保護者への情報公開 ・成績と出席状況のweb公開 ・保護者向けイベントの案内	保護者向けポータルサイトの構築をする。	保護者向けポータルサイトで、時間割、出席状況、成績、保護者向けイベントの案内、学生基本情報、を公開する。	全学的なポータルサイト構築のためのプロジェクトチームを作る。個人情報管理の委員も参加する。	教職員。	保護者向けポータルサイトの作成。
	学生へのよりよい指導 ・教職員の教育への参画 ・情報共有(学生カルテ) ・学生の自主的なポートフォリオの活用				

目的・目標		実現案の概要	①組織体制・制度	②要員	③設備・経費など
教員	授業ごとのポートフォリオの使用率を各学部30%以上にする。	学年ごと・授業ごとのポートフォリオで、教員と学生のやり取りを蓄積する。職員も閲覧できるようにする。授業単位ではなく、1年生から4年間を通した教員による双方向評価を行う。	各学部の委員会、学部長会。	教職員。特に授業担当の全教員。	双方向評価の機能を持ったポートフォリオの導入。
職員	職員は学生指導全般に関する経過報告の機会を各学期3回用意する。職員は各回についてコメントを行う。	学生は、各学期の初期中期後期にポートフォリオにおいて、学生生活全般に関わるアンケートに回答する。	教務委員会。学則の改訂も含む。事務は自身の所属に関係なく一定数の学生に対してコメントを入力する。各学期2回以上回答しなかった学生は当該学期の成績を付与しない。	教職員。	アンケート機能を持つポートフォリオの導入。
学生	学生にポートフォリオシステムへ月4回以上のログインをさせる仕組みをつくる。	授業以外で取り組んでいるキャリア・課外活動・自主的な活動の結果報告を行える場を作る。学生同士のコミュニケーションを促進させるために、コミュニティを予め設定しておく。	コミュニティについては担当職員を決めてコメント入力など場を盛り上げる。	職員。	コミュニティ運営機能を持つポートフォリオの導入。
	面談記録記入の100%実施。	教職員は、すべての面談について、面談記録の記入を行う。書き込み内容と権限についてのガイドラインを策定する。	ガイドライン策定のため、個人情報管理、ハラスメント、などの委員を含めた別委員会を用意。	教職員。	学生カルテの面談記録の機能。
就職率の向上 ・1～4回生までのキャリア系授業 ・目標設定とそのフォロー(特に中間層向け)					
	学生にはキャリアポートフォリオの作成を初年次100%実施させる。	キャリア系科目を設置する。キャリア系ポートフォリオで取り組み内容を蓄積管理する。2回生以降で履修している学生については、毎年度授業担当者が面談を実施する。	キャリア委員会。	キャリアセンター職員、授業に関わる教員。	キャリアポートフォリオの構築。